

## トップページ、イベントページ更新履歴

2023年5月1日

\*\*\*\*\* 里山散策とタケノコ掘り体験 \*\*\*\*\*

散策の後 タケノコ掘りを経験してもらいました。



2023年5月1日

苗代にコメの種まきをしました。



2022年10月15日

散策の後 稲刈りと稲架かけを経験してもらいました。

- 1 -





2022年7月20日  
 カラムシから糸を作る講習会がありました。



2022年6月16日  
 苗取りと田植えを経験してもらいました。



2022年5月30日

田植えの準備が進んでいます。



2022年4月25日  
みどりの里山とタケノコ掘りを楽しみました。



2022年4月19日  
苗代でお米の種まきをしました。



2022年3月10日

奈良ばい谷戸展開催中です。

### ようこそ、奈良ばい谷戸展へ

奈良ばい谷戸とそこで活動する「まちだ結の里」を紹介しています。

於：小野路宿里山交流館 土蔵



2015年に日本生態系協会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」と環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」に選ばれました。

雑木林、竹林の間伐材から作った炭、春夏秋冬の里山の景色、田植えや種刈り作業風景、ここで見かけることができる植物、動物たちの写真などを展示します。



展示期間：2022年3月6日（日）から 3月25日（金）まで  
特定非営利活動法人 まちだ結の里



2022年3月8日

春らしくなり、田んぼも畑も忙しくなってきました。



2022年1月16日

(仮称)町田市里山環境活用保全計画(案)へのパブリックコメントを提出しました。全文は下記「パブリックコメント」をご覧ください。



案件名	(仮称)町田市里山環境活用保全計画(案)
氏名	とくいえいりかつどうほんまちなちだしの里
住所	東京都町田市下小山田町 824-1
電話番号	080-7465-7651

特定非営利活動法人まちだ結の里の前身団体は 2005 年からその活動をはじめ、2007 年から主な活動の場所を「奈良ばい谷戸」として、「荒れた里山」を農的的手法によって里山環境を再生し、現在は保全・維持に努めています。再生された里山では景観が蘇っただけでなく、700 種類を超える植物や貴重な水棲動物などもみられるようになり、現在もその調査・保護を継続しています。これらの努力と成果は「関東・水と緑のネットワーク拠点 100 選」(公財)日本生態系協会、「生物多様性保全上重要な里山」環境省、「にほんの里 100 選」朝日新聞社・(公財)森林文化協会にも選ばれていることに表示しています。

2021 年 12 月での会員数は 76 名(うち過去 4 年間に加入したものは 32 名(42%) )、2020 年度は 130 日の活動日に延べ 1,874 名の会員が活動に参加しました。また市民を交えた「里山散策と農業体験」などを通じて広く里山の魅力を伝える活動をしています。

「地元農家」「行政」「市民」という三者協働による里山再生を目指しています。

**【ご意見記入欄】**

**P4 1.計画策定の目的**

- 第一段落に「町田市は多摩丘陵の北の端に位置し、北部の丘陵地は鶴見川、境川の源流域にもなっており、都市の近郊でありながら、豊かな自然環境を有しています」とありますが、豊かな自然環境とは何なのか具体的に記載してください。  
「谷戸には動植物など生物の多様性が保全され、豊かな自然環境が残されています」など
- 第二段落には「これまで町田市北部丘陵活性化計画(基本計画・実施計画)」及び「町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン(行動計画)」に基づき、北部丘陵に特化した里山環境の「再生と保全」を推進してきましたとあり、第四段落では「本計画では、こうした地域の資産・資源を有効に活用し、持続可能なものとして施策を効果的に推進していきます」とあります。しかし **P15 1.対象地域の現状**においては、「荒廃した山林や農地が増え、現在では以前のような里山の環境はほとんど残っていません」とあります。ここで記載されている認識からすると、「地域の資産・資源を有効活用」より先に里山環境の「再生と保全」が引き続き必要になると考えますが、市の認識をお聞かせください。
- 第五段落の「多様な主体による連携・協働により里山環境を活用していくこと」の部分ですが、前

(仮称)  
町田市里山環境活用保全計画  
(案)

町田市

2022 年 1 月 16 日

今年の作業の安全を祈願しました。



2021 年 11 月 23 日

里山散策とさつま芋掘り体験を開催しました。





2021年10月29日  
里山散策と稲刈り体験を開催しました



2021年9月13日  
秋を迎えつつある里山です。



2021年7月18日  
田の草取りとジャガイモの収穫



2021年5月3日  
苗代の準備と茶摘み風景



2021年3月7日  
春の里山とジャガイモの植え付け風景



\*\*\*\*\* 炭を焼いています \*\*\*\*\*



2021年1月  
 今年の作業の安全と豊作を祈願しました。



\*\*\*\*\* 厳冬の里山風景です \*\*\*\*\*



2020年11月

地元農家 行政 市民 三者協働による里山再生を目指します。

ゆいのさと  
 NPO法人まちだ結の里

朝日新聞社「SATO～次世代に残したい里」にて取り上げて頂きました。

SATO～次世代に残したい里、03 小野路 東京に息づく美しい里



2020年10月

刈り入れの時を迎えています。



2020年10月

中秋を迎えた里山です。



2020年9月

暑い夏が終わり、秋がそこまで来ています。



2020年6月

梅雨の晴れ間に田植えをしました。



2020年5月

東京新聞「首都残景」に掲載されました。「撮影・東京新聞」





2020年5月

「田植え体験」は、新型コロナウイルス感染症への対応として中止することになりましたので、お知らせいたします。(写真は2019年撮影)



2020年3月

里山に春が来ました。



- 11 -

地元農家 行政 市民 三者協働による里山再生を目指します。

ゆいのさと  
NPO法人まちだ結の里



machi da - yui no sato

2020年3月

新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、タケノコ掘り体験は中止となりました。(写真は2019年撮影)



2020年2月

炭焼き風景





2020年1月

多摩地方での伝統工芸である「めかい」の講習会を開催しました。



2020年1月

安全と豊作を祈願しました。



- 13 -



2019年12月  
秋終い



2019年11月

\*\*\*\*\* 親子でサツマイモ掘り体験 \*\*\*\*\*



2019年10月  
刈り取りを待つ稲



- 14 -

地元農家 行政 市民 三者協働による里山再生を目指します。

ゆいのさと  
NPO法人まちだ結の里

machi da - musubi no sato

2019年10月

\*\*\*\*\* 稲刈り体験 \*\*\*\*\*



2019年4月

春の植え付け準備



2019年4月

\*\*\*\*\* 親子タケノコ掘り体験 \*\*\*\*\*



- 15 -

地元農家 行政 市民 三者協働による里山再生を目指します。

ゆいのさと  
NPO法人まちだ結の里



2019年2月  
里山に春の予感



2018年11月11日

\*\*\*\*\* 親子いもほり体験 \*\*\*\*\*

晴天の秋空の下、50名弱の親子がサツマイモ掘りを体験されました。大きな赤いイモが出てくる度に大きな歓声が里山に響きました。





2018年10月6日  
 稲の刈り取り作業真っ盛りの奈良ばいです。



2018年9月22日  
 ジャガイモ、小麦と収穫の時を迎えている奈良ばいです。



2018年8月22日

\*\*\*\*\* 横浜 新治の方々との交流 \*\*\*\*\*

新治里山「わ」を広げる会、新治谷戸田を守る会、その他関係の方々を迎えて、田んぼと米作りについて意見交換会を開きました。共通の課題も多くあり、実りある時間を過ごすことが出来ました。



2018年6月20日

\*\*\*\*\* 田植え体験 \*\*\*\*\*

雨天を心配していましたが、親子田植え体験者、町田市民大学の生徒さんと一緒に田植えを無事終了しました。田んぼには老若男女の楽しい声が響いていました。



2018年6月9日

7週間前に蒔いたコメの種が順調に成長し、苗取り、田植えの時となりました。





2018年5月16日

濃い緑に囲まれた奈良ばいでは畑作業が続いています。耕耘した畑で里芋の植え付けが行われました。



2018年4月25日

\*\*\*\*\* 小山田緑地散策とタケノコ掘り体験 \*\*\*\*\*

- 19 -



春の緑地散策とタケノコ掘りのイベントに 14 組 40 名の親子が参加されました。竹林のなか「掘ったぞ〜」「こっちのほうが大きいよ」「重いよ」と元気な声が聞かれました。



\*\*\*\*\* 田植え体験希望者、募集のお知らせ \*\*\*\*\*

一緒に田植えをやりませんか？米作り体験の一つとして田植えの参加者を募っています。6月16日土曜日 奈良ばいの田んぼで実施予定です。

ご希望の方は、まちだ結の里(yui-info@narabai.org)までご連絡下さい。

広報まちだ、または町田市ホームページの北部丘陵イベント情報を通じても申込出来るようになります。



2018年4月16日

田植えの準備が始まりました。種もみの保管中についたカビや細菌を湯温消毒して、積算の温度が100度になるまで水につけておき、芽がハト胸状態になったところで、整地した畑に種もみを蒔きました(陸苗代)。



2018年3月28日

春分の日を過ぎて、一気に気温があがり、奈良ばいでも花々が一斉に咲き始めました。春の里山散策にお出掛けになりませんか。



2018年3月7日

\*\*\*\*\* 小野路宿里山交流館での展示 \*\*\*\*\*

「まちだ結の里」「奈良ばい」を広く知ってもらう為の展示を行っています。

「めかい」の作品や作成手順、竹炭などを活動紹介のパネルと共に展示しています。

3月7日から30日までの予定です。知り合いの方を誘ってお出掛けになってみませんか？

町田市小野路888-1 開館時間：9時から5時まで



2018年3月3日

東京にも春一番の暖かい風が吹き、奈良ばいにも春らしい日差しがさしてきました。梅の花も開花して、いよいよ春の田圃、畑作業のはじまりです。



2018年2月1日

大寒に入り寒い日が続いております。そして東京地方にも大雪が降り、奈良ばい谷戸も写真の様に真っ白になりました。東北地方では大雪の年は作物が豊作になるという言い伝いを聞きます。



2018年2月1日

\*\*\*\*\* 中学生の職場体験 \*\*\*\*\*

奈良ばい谷戸で町田市内の忠生中学生が1日職場体験を実施しました。当日は大雪の後に残雪があり又気温も低い日でせしたが、若者らしく活動された事に感動しました。



地元農家 行政 市民 三者協働による里山再生を目指します。

ゆいのさと  
NPO法人まちだ結の里



machi-da-knots-sato